

当座勘定規定新旧対照表（信金パーソナル チェック口用）（改正箇所のみ抜粋）

新	旧	備 考
<p>第7条（小切手、手形<u>等</u>の支払）</p> <p>(1) (2) (3) （略）</p> <p>(4) 当座勘定の払戻しの場合には、本人または代理人が自己の名義で振出した小切手<u>または当金庫所定の払戻請求書</u>を使用してください。</p> <p><u>(5) 前項の払戻しに払戻請求書を使用する場合は、本人または代理人が自署のうえ提出してください。また、払戻しに際して、当金庫所定の本人確認書類の提示等を求めることがあります。求められた本人確認書類の提示等がない場合には、取引を行うことはできません。</u></p>	<p>第7条（小切手、手形の支払）</p> <p>(1) (2) (3) （略）</p> <p>(4) 当座勘定の払戻しの場合には、本人または代理人が自己の名義で振出した小切手を使用してください。</p> <p><u>(5)（新設）</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・払戻請求書による支払の規定を追加。 ・パーソナルチェック口は代理権も認めている。
<p>第8条（小切手、手形用紙）</p> <p>(1) (2) (3) (4) （略）</p> <p><u>(5)（削除）</u></p> <p><u>(5)</u> 当座勘定から支払をした小切手または手形の用紙はその日から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。</p> <p><u>(6)</u> 前項の期間を経過した場合において、本人から請求があったときは、当金庫所定の手続きによって当該小切手または手形の写しを交付します。ただし、当金庫が定める保険期限を経過した場合は、その限りではありません</p>	<p>第8条（小切手、手形用紙）</p> <p>(1) (2) (3) (4) （略）</p> <p><u>(5) 小切手用紙、手形用紙の請求があった場合には、必要と認められる枚数を実費で交付します。</u></p> <p><u>(6)</u> 当座勘定から支払をした小切手または手形の用紙はその日から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。</p> <p><u>(7)</u> 前項の期間を経過した場合において、本人から請求があったときは、当金庫所定の手続きによって当該小切手または手形の写しを交付します。ただし、当金庫が定める保険期限を経過した場合は、その限りではありません</p>	<p>手形帳・小切手帳発行停止による削除。</p>

新	旧	備 考
<p>第12条（手数料の引落し）</p> <p>(1) 当金庫が受取るべき貸付金利息、手数料、立替費用、その他これに類する債権が生じた場合には、小切手<u>または払戻請求書</u>によらず、当座勘定からその金額を引落すことができるものとします。</p> <p>(2) (略)</p>	<p>第12条（手数料の引落し）</p> <p>(1) 当金庫が受取るべき貸付金利息、手数料、立替費用、その他これに類する債権が生じた場合には、小切手によらず、当座勘定からその金額を引落すことができるものとします。</p> <p>(2) (略)</p>	
<p>第13条（支払保証）</p> <p>小切手の支払保証はしません。</p>	<p>第13条（支払保証に代わる取扱い）</p> <p>小切手の支払保証はしません。<u>ただし、その請求があるときは、当金庫は自己宛小切手を交付し、その金額を当座勘定から引落します。</u></p>	
<p>第17条（署名鑑照合等）</p> <p>(1) 小切手、手形、<u>払戻請求書</u>または諸届け書類に記載された署名(電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含みます)を、届出の署名鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いしましたうへは、その小切手、手形、<u>払戻請求書</u>、諸届け書類につき、偽造、変造その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</p> <p>(2) (略)</p>	<p>第17条（署名鑑照合等）</p> <p>(1) 小切手、手形または諸届け書類に記載された署名(電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含みます)を、届出の署名鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いしましたうへは、その小切手、手形、諸届け書類につき、偽造、変造その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当金庫は責任を負いません。</p> <p>(2) (略)</p>	

以 上